

選 定 理 由

採択地区名【 尾 張 東 部 】

種 目 名	理科	採択替えの有無	有 ・ (無)
発 行 者 名	東京書籍	従来の発行者名	東京書籍

1 学習指導要領との関連

- (1) 各場面で働かせる見方・考え方を具体的に示している。「理科の見方・考え方」を自覚的に働かせながら問題解決の活動を行うことで、「深い学び」が実現し、問題解決の力が育成されるように編集されている。
- (2) 児童が自ら問題を見いだす場面を重視し、主体的に学習に取り組むことができるように編集されている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- (1) 身近な教材を活用し、自分のアイディアを生かして「ものづくり」を行う場面を設け、創造性が高められるように配慮されている。
- (2) 学んだことを使って、持続可能な社会を構築するために自らができることを考える場面が設定されている。

3 内容

(1) 内容の選択

- ・ 児童が自然の事物・現象に触れて自ら問題を見いだす場面を設け、児童の疑問を基に主体的に問題解決に取り組むことができる内容が選択されている。
- ・ 自然愛護や生命尊重、環境保全に対する態度を大切にし、身近な素材を取り上げ、児童の疑問を基に主体的に学習に取り組める内容が選択されている。

(2) 内容の程度

- ・ 問題解決の過程が明確でわかりやすく、学年に応じた科学的な思考ができるように選択されている。
- ・ 児童が発達段階に合わせて、自然の事象に触れて自ら問題を見いだす場面を設け、児童の意欲が高められるように配慮されている。
- ・ 基礎的・基本的事項を系統的にまとめ、理科に対する興味を広げ、理解を深める内容が学年に応じてバランスよく配置されている。

(3) 内容の構成

- ・ 児童の思考に沿って学習が展開できるように構成されており、見通しをもって問題を解決していくことができるように配慮されている。
- ・ 単元配列は、基礎となる単元を先行するとともに、季節的な学習の適期などにも配慮されている。
- ・ デジタルコンテンツが豊富に用意されており、児童が学習を深め、理解がより確かなものとなるように配慮されている。
- ・ 単元配列や観察、実験の方法などを工夫し、ゆとりをもって学習が進められるような分量となっている。
- ・ 学習の補充や発展として、児童が無理なく取り組める分量である。
- ・ 学習したことを使って考え、説明する問題を取り上げ、理科の有用性が理解できるように工夫されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 単元の導入時に効果的な写真を活用し、思考の展開が円滑に行われる工夫がされている。
- (2) 安全に対しての配慮が必要な場面では、マークや赤文字で強調し、巻末には観察・実験の基礎技能に関する内容が詳細に記載されている。
- (3) 発展的な学習の方法や身の回りの事象を話題とする読み物資料を豊富に取り入れ、親しみや興味をもって系統的に学習できるよう配慮されている。

5 印刷・造本等

- (1) ユニバーサルデザイン書体を採用し、本文のバランスがとれ、読みやすい。鮮明な印刷であり、特にカラー写真や生物の細密図などは、実物に忠実な再現となっている。
- (2) 本文用紙には、従来より約10%軽い用紙が使用されていて、児童の負担に配慮がなされている。